

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

マラヤン・バンキング・ベルハッド（証券コード：－）

【据置】

外貨建長期発行体格付	A
格付の見通し	安定的
債券格付	A

■格付事由

- (1) マレーシア最大の銀行で、18/12 期末の連結総資産は 8,070 億リンギット（約 21 兆円）。子会社を通じて証券や保険などの非銀行業務も手掛けており、ASEAN 地域において幅広く事業を展開している。格付は、マレーシア国内の堅固な事業基盤、収益源の分散と高い収益力、良好な流動性ポジション、高い資本水準を反映している。一方、所在国の金融経済情勢や規制環境の影響を受けやすい銀行業の特性を反映し、格付はマレーシアのソブリン格付（外貨建長期発行体格付：A/安定的）の制約を受けている。格付の見通しは安定的。米中貿易摩擦の長期化などにより ASEAN 経済を取り巻く環境には不透明感が増しており、特に当行の主力マーケットであるシンガポールは景気減速が鮮明となっている。こうしたなか、当行では貸出資産の若干の劣化が生じている。しかし、現状の収益力を踏まえれば与信費用を吸収するバッファは十分にあり、先行きも一定の最終利益と健全な資本水準を維持できると JCR はみている。
- (2) 国内では個人、中堅・中小企業から大企業にわたる幅広い顧客基盤を有し、堅固な銀行業務の基盤を築いている。預貸シェアは 20%程度。傘下には国内最大のイスラム銀行も擁しており、市場が拡大するイスラム金融において優位性を確保している。国外では、シンガポール（貸出金構成比：約 25%）で外資系大手適格フルバンクの位置づけにあり、リテールバンキングおよびコマース・コーポレートバンキングの双方で基盤を確立している。インドネシア（同：8%）では比較的規模の大きい地場銀行を子会社に持つ。証券・投資銀行業務においても、国内だけでなく ASEAN 地域を中心とした国外でもプレゼンスを有している。
- (3) 引当前利益は純金利収入とイスラム金融業務からの収益を中心に増加傾向で推移している。調達面の競争激化などを背景に純金利マージンは幾分縮小しているものの、貸出残高の増加が収益の伸びを支えている。引当前利益ベースの ROA は 18/12 期で約 1.6%と高い水準を維持している。19/12 期 1-9 月累計の決算をみると、与信費用が前年同期比で約 4 割増となったが、引当前利益の増加がこれを吸収し、最終利益は前年同期からほぼ横ばいを維持している。
- (4) 不良債権比率は国外の法人向け貸出金の劣化を主因に若干上昇し、19 年 9 月末には 2.67%となった。不良債権の新規発生は落ち着いてきているが、正常化する債権の額が減少したため残高の増加が続いた。与信費用は 19/12 期も収益で十分吸収できる範囲で推移しているが、18/12 期の与信残高比 32bp からは増加が見込まれる。貸出ポートフォリオは国や産業の観点で分散が図られており、市況の影響を受けやすい建設業や不動産業、コモディティ関連セクターなどへの貸出についても、各セクターの総額は総貸出比で大きくない。このため、個別与信先の要因などにより短期的に与信費用が膨らむことはあっても、リスクは総じて管理可能とみている。
- (5) 19 年 9 月末のグループ連結普通株式等 Tier1 比率は 14.4%と、格付対比で高い水準を維持している。内部留保の着実な蓄積やリスクアセットのコントロールにより、今後も健全な資本水準が保たれるとみている。預貸率はグループ連結ベースで 90%台で推移している。主要な海外拠点で預金が潤沢に確保されており、外貨についても流動性のバランスは良好である。

（担当）増田 篤・佐伯 春奈

■格付対象

発行体：マラヤン・バンキング・ベルハッド（Malayan Banking Berhad）

【据置】

対象	格付	見通し
外貨建長期発行体格付	A	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第2回円貨社債（2015）	128億円	2015年4月30日	2020年4月30日	0.509%	A
第3回円貨社債（2019）	398億円	2019年5月21日	2022年5月20日	0.27%	A
第4回円貨社債（2019）	90億円	2019年5月21日	2024年5月21日	0.34%	A
第5回円貨社債（2019）	60億円	2019年5月21日	2029年5月21日	0.58%	A

格付提供方針に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2019年12月3日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：増田 篤
主任格付アナリスト：増田 篤
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）、「銀行等」（2014年5月8日）として掲載している。
- 格付関係者：
（発行体・債務者等） マラヤン・バンキング・ベルハッド（Malayan Banking Berhad）
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・格付関係者が提供した監査済財務諸表
・格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいで行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル